

# 介護保険事業会計

介護保険事業会計は、40歳以上の方が被保険者となって保険料を出し合って、高齢者の介護を社会全体でささえる制度である介護保険事業です。  
 ◎資産総額（3,112百万円）のうち、介護保険事業における未収金が約4割、大阪市介護給付費準備基金が約3割を占めています。  
 ◎職員の退職手当引当金が、負債総額（2,617百万円）の約8割を占めています。  
 ◎純資産は（資産総額－負債総額）は、495百万円となります。

現金預金		【資産の部】	3,112百万円	【負債の部】	2,617百万円	
項目		流動資産	1,623百万円	流動負債	275百万円	地方債
歳計現金	440百万円	現金預金	440百万円	地方債	68百万円	平成27年度の償還予定額 ⇒介護保険事業における財政安定化基金貸付に関する地方債
未収金		未収金	2,309百万円	短期借入金	－	賞与引当金
通常の業務活動において発生した未収入金 ⇒介護保険事業における未収金		貸倒引当金	▲1,126百万円	賞与引当金	141百万円	平成27年6月支給の期末・勤勉手当の支払見込み額（共済費含む）のうち、開始貸借対照表日時点の負担相当額（平成26年度分）の残高
主な項目	(貸倒引当金)	基金	－	未払金	－	リース債務
介護保険料	2,159百万円 ▲1,058百万円	短期貸付金	－	還付未済金	－	リース契約によって借り入れている物件のリース料
リース資産		固定資産	1,489百万円	リース債務	65百万円	主な項目
リース契約によって借り入れている物件		事業用資産	－	その他流動負債	－	介護保険システム用サーバ機器等 33百万円 統合基盤システム用サーバ機器等 16百万円
主な項目	取得原価 (減価償却累計額)	インフラ資産	－	固定負債	2,341百万円	地方債
介護保険システム用サーバ機器等	169百万円 ▲112百万円	重要物品	－	地方債	137百万円	平成28年度以降の償還予定額 ⇒介護保険事業における財政安定化基金貸付に関する地方債
統合基盤システム用サーバ機器等	65百万円 ▲4百万円	リース資産	139百万円	長期借入金	－	退職手当引当金
ソフトウェア		ソフトウェア	456百万円	退職手当引当金	2,129百万円	開始貸借対照表日時点で全ての職員が自己都合退職した場合の退職手当支給見込額
コンピュータを機能させるように指令を組み合わせる表現したプログラム等		建設仮勘定	68百万円	損失補償等引当金	－	リース債務
主な項目	取得原価 (減価償却累計額)	出資金	－	長期未払金	－	リース契約によって借り入れている物件のリース料
介護保険システム	991百万円 ▲542百万円	信託受益権	－	リース債務	73百万円	主な項目
基金		基金	824百万円	その他固定負債	－	介護保険システム用サーバ機器等 22百万円 統合基盤システム用サーバ機器等 45百万円
項目	(貸倒引当金)	貸倒引当金	▲0円	【純資産の部】	495百万円	
大阪市介護給付費準備基金	824百万円 ▲0円	長期貸付金	－	累積余剰	495百万円	
		その他債権	－	評価・換算差額等	－	
		資産合計	3,112百万円	負債及び純資産合計	3,112百万円	

※表中の金額は百万円未満を切り捨てていますので、内訳と合計が一致しない場合があります。

# 後期高齢者医療事業会計

後期高齢者医療事業会計は、75歳（一定の障がいがある人は65歳）以上の方が加入し、医療給付等を受ける後期高齢者医療制度において、保険料を徴収し運営元である大阪府後期高齢者医療広域連合へ納付する後期高齢者医療事業の会計です。

- ◎資産総額（1,590百万円）のうち、現金預金が約8割を占めています。
- ◎職員の退職手当引当金が、負債総額（562百万円）の約9割を占めています。
- ◎純資産は（資産総額－負債総額）は、1,028百万円となります。

【資産の部】		1,590百万円	【負債の部】		562百万円
<b>流動資産</b>		<b>1,514百万円</b>	<b>流動負債</b>		<b>42百万円</b>
現金預金	1,195百万円	現金預金	1,195百万円	地方債	—
未収金	586百万円	未収金	586百万円	短期借入金	—
貸倒引当金	▲266百万円	貸倒引当金	▲266百万円	賞与引当金	37百万円
基金	—	基金	—	未払金	—
短期貸付金	—	短期貸付金	—	還付未済金	—
その他流動資産	—	その他流動資産	—	リース債務	4百万円
<b>固定資産</b>		<b>75百万円</b>	<b>固定負債</b>		<b>519百万円</b>
事業用資産	—	事業用資産	—	地方債	—
インフラ資産	—	インフラ資産	—	長期借入金	—
重要物品	—	重要物品	—	退職手当引当金	519百万円
リース資産	5百万円	リース資産	5百万円	損失補償等引当金	—
ソフトウェア	70百万円	ソフトウェア	70百万円	長期未払金	—
建設仮勘定	—	建設仮勘定	—	リース債務	—
出資金	—	出資金	—	その他固定負債	—
信託受益権	—	信託受益権	—	<b>【純資産の部】</b>	
基金	—	基金	—	<b>1,028百万円</b>	
長期貸付金	—	長期貸付金	—	累積余剰	1,028百万円
その他債権	—	その他債権	—	評価・換算差額等	—
<b>資産合計</b>		<b>1,590百万円</b>	<b>負債及び純資産合計</b>		<b>1,590百万円</b>

**賞与引当金**  
平成27年6月支給の期末・勤勉手当の支払見込み額（共済費含む）のうち、開始貸借対照表日時点の負担相当額（平成26年度分）の残高

**リース債務**  
リース契約によって借り入れている物件のリース料  
項目  
国民健康保険等システム用サーバ機器等 4百万円

**退職手当引当金**  
開始貸借対照表日時点に全ての職員が自己都合退職した場合の退職手当支給見込額

※表中の金額は百万円未満を切り捨てていますので、内訳と合計が一致しない場合があります。

# 公債費会計

公債費会計は、地方債（借金をするための債券）の発行や借金の元金・利子の支払いを一括して担当している会計です。

◎地方債償還の財源である公債償還基金が、資産総額（534,396百万円）のほぼ全体を占めています。

◎他会計の事業に関する地方債が、負債総額（533,593百万円）のほぼ全体を占めています。

◎純資産は（資産総額－負債総額）は、803百万円となります。

**基金**  
他会計が積み立てた公債償還基金のうち、平成27年度の地方債償還の財源として取り崩されるもの

項目	(貸倒引当金)
公債償還基金	142,048百万円 ▲0円

【資産の部】	534,396百万円	【負債の部】	533,593百万円
<b>流動資産</b>	<b>142,048百万円</b>	<b>流動負債</b>	<b>139,906百万円</b>
現金預金	—	地方債	139,898百万円
未収金	—	短期借入金	—
基金	142,048百万円	賞与引当金	8百万円
貸倒引当金	▲0円	未払金	—
短期貸付金	—	還付未済金	—
その他流動資産	—	リース債務	—
<b>固定資産</b>	<b>392,348百万円</b>	その他流動負債	—
事業用資産	—	<b>固定負債</b>	<b>393,686百万円</b>
インフラ資産	—	地方債	393,627百万円
重要物品	—	長期借入金	—
リース資産	—	退職手当引当金	58百万円
ソフトウェア	2百万円	損失補償等引当金	—
建設仮勘定	—	長期未払金	—
出資金	—	リース債務	—
信託受益権	—	その他固定負債	—
基金	392,346百万円	<b>【純資産の部】</b>	<b>803百万円</b>
貸倒引当金	▲0円	累積余剰	803百万円
長期貸付金	—	評価・換算差額等	—
その他債権	—	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>534,396百万円</b>
<b>資産合計</b>	<b>534,396百万円</b>		

**地方債**  
平成27年度の償還予定額  
⇒他会計の事業に関する地方債

**地方債**  
平成28年度以降の償還予定額  
⇒他会計の事業に関する地方債

**【公債費会計の地方債残高について】**

公債費会計は、地方債の発行と償還を一括で管理している会計ですので、他会計が地方債の償還のために積み立てた公債償還基金に相当する地方債残高を公債費会計に計上しています。

そうしたことから、大阪市の地方債残高（準公営企業会計及び公営企業会計分を除く）は、公債費会計と他会計の地方債残高を合計した額となります。

**基金**  
他会計が積み立てた公債償還基金のうち、平成28年度以降に地方債償還の財源として取り崩されるもの

項目	(貸倒引当金)
公債償還基金	392,346百万円 ▲0円

※表中の金額は百万円未満を切り捨てていますので、内訳と合計が一致しない場合があります。